

## 準備するもの

- ・ピーマンの誘引用支柱
- ・ミニトマト用の長めの支柱 (150cmくらい)
- ・ハサミ
- ・化成肥料

## ここがポイント！

- ①わき芽とりするのは、**晴れの日**に行ってください。  
雨に日に行くと、わき芽をとったところから病気になる可能性があります。
- ②わき芽をとる際は、ハサミは使用せず**手**でとりましょう！  
\*わき芽が大きく育ちすぎてしまった場合は、ハサミを使いましょう。

## ピーマン

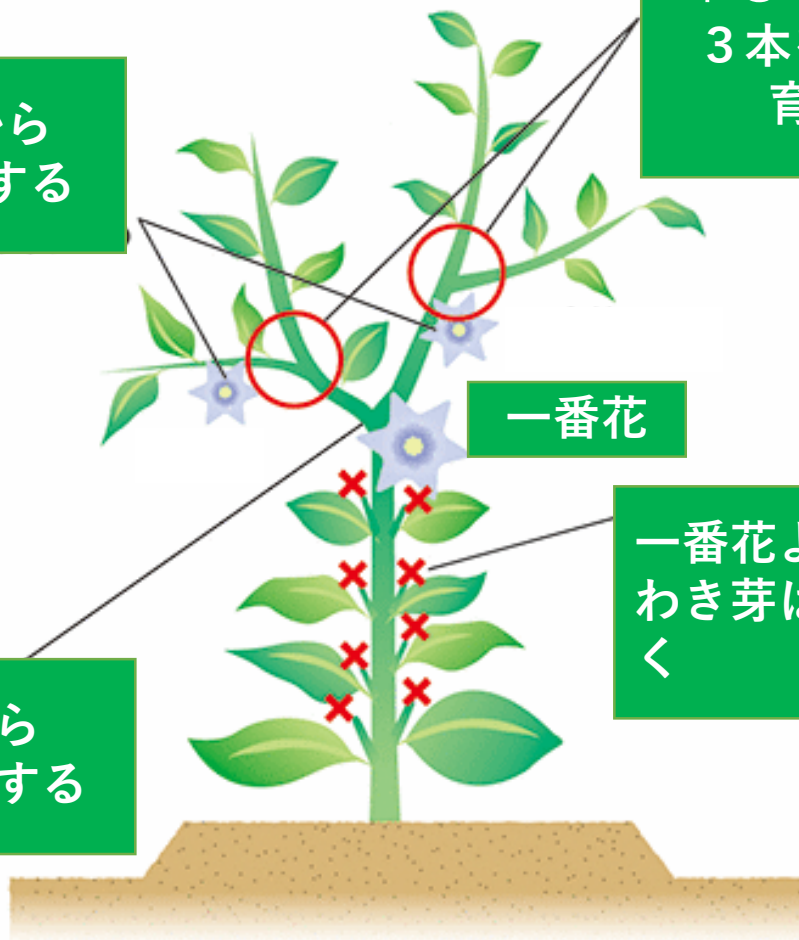
花の上から  
枝が分岐する

「3本仕立て」  
3本を主枝として  
育てていく

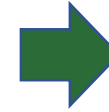
一番花

一番花よりも下にある  
わき芽は、全てとり除く

花の上から  
枝が分岐する



# 千葉市 わき芽をとる (ピーマン編)



①わき芽とり前  
葉と茎の間から生えてくる  
わき芽をとる。

②わき芽をとる  
とった後の様子。

③とったわき芽

④わき芽をとった後

## ここがポイント！

わき芽をとる際は、引っ張るのではなく、左右に倒すようにとると、もとからうまくとれます。

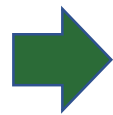


**ピーマンの支柱立て**  
支柱を三方に刺し、三角形になるようにうまく組み立てます。またその際、写真のように逆三角形になるように上部を広く組み立てしましょう。

# 千葉市 誘引 (ゆういん)



③誘引前の状態



②3本の支柱にそれぞれ結ぶ



③ピーマンの誘引完成



8の字の結び方 (参考)

## ピーマンの誘引

誘引とは植物の成長に応じて茎や葉を支柱に固定する作業です。内側まで日が当たり風通しも良くなることで成長をうながすことができます。枝が伸びてきたら、3本に分かれた枝を支柱にひもで固定します。ひもは8の字になるようにゆるめに縛ります。きつく結びすぎると枝を折ってしまう可能性があるので慎重に結びましょう。



## ミニトマトの支柱立て

ミニトマトは1本の主枝で成長していくため誘引は必要ありませんが、上にぐんぐん伸びていきます。支柱が短い場合は長めの支柱 (150cmくらい) に取り換えることをおすすめします。

# 千葉市 追肥 (ついひ)



①化成肥料を準備する。



② 1回につかう量 (約30g)



③土の表面にまんべんなくまく。



④肥料をまいた後

## 今回の作業

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ピーマン	定植支柱たて	わき芽とり	追肥 誘引	追肥 整枝	追肥	追肥
ミニトマト	定植支柱たて	わき芽とり	追肥	追肥	収穫	追肥

- ・水やりは、土の表面が乾いたら5ℓ程度 (真夏は毎日、朝・夕方の2回が理想)
- ・追肥は、2週間に1回、各30g程度 (5月末～10月前半まで)
- ・収穫は、7月上旬～10月まで

## 追肥とは

植物の生育に必要な栄養を追加であたえることを追肥といいます。追肥をすることで元気に育ち、実も付きやすくなります。

2週間に1回程度、同じ量 (約30g) をまいてください。